

01 | 2022年度 プロジェクトS活動報告①

1 スポーツ振興ゾーン(国市浜公園)整備事業

- 国市浜公園整備に伴う地質調査業務委託（5月）
- 三重県議会の発電所跡地視察（7月21日）
- 三重県軟式野球連盟尾鷲支部からの要望書受領（7月26日）
- 国市浜公園整備に伴う測量・基本設計・実施設計業務委託（9月）
- 社会資本整備総合交付金要望活動（11月、12月）
- 民間団体からの施設整備に関する提案を受け、打合せを随時実施

2 集客交流人口増加の「核」となる事業検討等

- 三重県南部地域活性化基金事業費補助金交付申請・交付決定（4月15日・18日）
 - (株)エイルとの業務委託契約締結（4月19日）
 - 庁内WG会議を随時実施
 - 委託業者・庁内関係課との打合せを随時実施
 - イベント実施計画策定（3月）
- ※(株)エイル蔵所氏には、アドバイザーとしておわせSEAモデルプロジェクト支援業務も委託
- 企業誘致に関する企画提案書（3月）
 - おわせSEAモデル協議会における課題解決のための企画提案書（3月）

3 グランピング等キャンプ施設誘致

- (株)インフィニティ52 事業再構築補助金採択（6月9日）
- 記者会見「三重県尾鷲市発！火力発電所跡地を活用したグランピング施設の開業」（8月26日）
- 関係機関との施設整備に関する打合せを随時実施
- 令和5年初夏のオープンに向け準備中

4 環境省地域循環共生圏関係

- 環境省ESD/EPO運営委員会参加（5月25日、1月31日）
- PF事業卒業団体ヒアリング（12月23日）
- PS基盤強化会合（令和4年度おわせSEAモデル説明交流会）の開催（1月20日）

5 尾鷲式サウナ制作プロジェクト

- (株)ホークアイによる尾鷲式サウナ（COCO SAUNA）の製作・販売

三重県志摩市
MOKU ISESHIMA 様



三重県伊勢市
伊勢パールピアホテル 様



01 | 2022年度 プロジェクトS活動報告②

【プロジェクトS主な活動内容①】

【スポーツ振興ゾーン(国市浜公園)整備事業】

■ 内容

- ・国市浜公園整備に伴う地質調査業務委託
令和4年5月～11月 公園エリア内6か所で実施
- ・三重県議会総務地域連携デジタル社会推進常任委員会との意見交換・発電所跡地視察
令和4年7月21日 三重県議会議員8名参加
- ・三重県軟式野球連盟尾鷲支部からの要望書受領
令和4年7月26日
避難道路の確保を条件に野球場新設に賛成
地域振興のため大会が誘致できるような付帯設備要望あり
- ・国市浜公園整備に伴う測量・基本設計・実施設計業務委託
令和4年9月～令和5年3月（令和5年度へ繰越）
→民間団体からのエリア内での施設整備等提案に対する検討
及び撤去工事の進捗状況等により、設計業務を令和5年度に繰り越し、引き続き実施
- ・社会資本整備総合交付金要望活動
令和4年11月 国土交通省中部地方整備局
令和4年12月 国土交通省都市局

■ 来年度以降の活動計画（予定） （令和5年度）

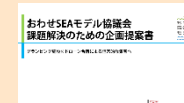
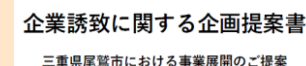
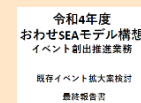
- ・設計等業務、造成開始
- #### （令和6年度以降）
- ・造成、エリア内施設整備の着工



【集客交流人口増加の「核」となる事業検討等】

■ 内容

- 1 事業名：おわせSEAモデルプロジェクト支援業務委託
- 2 概要：既存の資源・資産を活用した持続可能な地域活性化に資する取組の推進や、企業誘致に関する助言など、おわせSEAモデル構想における産業の振興による雇用の創出や集客交流人口の増加につなげるため、イベント構築・誘致に関する企画提案、企業誘致に関する企画提案、おわせSEAモデル協議会における課題解決のための企画提案を行う。
- 3 期間：令和4年4月19日～令和5年3月24日
- 4 事業者：㈱エイル
- 5 W G：尾鷲市役所内設置の「イベント事業推進WG」を令和4年6月～11月にかけて10回開催し、新規イベント案及び既存イベント規模拡大案等について検討
- 6 成果物：○「令和4年度おわせSEAモデル構想イベント創出推進業務 既存イベント拡大検討 最終報告書」
○「企業誘致に関する企画提案書」
○「おわせSEAモデル協議会における課題解決のための企画提案書」



■ 来年度以降の活動計画（予定） （令和5年度以降）

- ・既存イベントの磨き上げによる集客拡大
- ・大規模イベントの誘致活動
- ・企画提案を基にした企業誘致活動



【プロジェクトS主な活動内容②】

【グランピング等キャンプ施設誘致】

■ 内容

- 1 事業名：尾鷲オートキャンプ場 音色の森（仮）
- 2 概要：中部電力尾鷲三田火力発電所燃料第2ヤード跡地に「日常を忘れ自然の音色を楽しむ」をコンセプトにグランピング施設を併設したキャンプ場を開業する。事業実施にあたっては、令和4年6月に採択された経済産業省の「事業再構築補助金」を活用する。
- 3 事業者：(株)インフィニティ52
- 4 会見等：
 - ・令和4年8月26日
「三重県尾鷲市初！火力発電所跡地を活用したグランピング施設の開業」と題して記者会見実施
 - ・令和5年1月20日
「令和4年度おわせSEAモデル説明交流会」で事業概要を発表
- 5 現況：事業者において、事業再構築補助金交付決定を除き、接道要件、建築確認等、施設整備に向けた関係機関との手続きは完了済。しかしながら、事業採択後の経営状況の悪化により、今後の対応について、関係者と打開策を協議・検討中。



■ 来年度以降の活動計画（予定）

（令和5年度）

・令和5年初夏のオープンに向け準備中

【環境省地域循環共生圏関係】

- 内容：令和4年度おわせSEAモデル説明交流会
目的：おわせSEAモデル協議会と企業・金融機関等との新たなパートナーシップで進める尾鷲市の未来像（ローカルSDGs）実現に向けて、新たなパートナーシップの構築と新たなプロジェクト創発のきっかけづくり
- 日時：令和5年1月20日（金）13：30～16：30
参加者：63団体、128名
成果：
 - 環境で地域を元気にする地域循環共生圏～ローカルSDGs～
 - おわせSEAモデル構想の紹介
 - ✓尾鷲市の現状について
 - ✓SEAモデルの経過、進捗状況の共有
 - 協力機関からの応援メッセージ
 - 財務省東海財務局津財務事務所長
 - 国土交通省中部地方整備局四日市港湾事務所長
 - プロジェクト・セッション
 - ✓尾鷲音色の森キャンプ場（仮）について
 - ✓親子3世代が憩う総合公園整備について
 - ✓環境にやさしい陸上養殖について
 - ✓尾鷲市における製材工場立地の可能性について
 - プロジェクト担当者と企業等との情報交換



【プロジェクトE 主な活動内容①】

【木質バイオマス発電の事業化】

■ 内容

- 当初計画設備における事業化検討 ➡ 事業化困難
 - 鋼材価格の高騰および大幅な円安の影響等により設備費が大幅に増加
- 他機種設備における事業化検討 ➡ 事業化困難
 - 木質バイオマス発電の専門家とアドバイザー契約（契約期間：2022年7月～2023年3月）を締結し、国内外を含めた他5機種の研究、調査を行ったが、他機種においても当初設備同様に設備費が高額

■ 当初計画設備仕様

仕 様：木質ガス発電
（オーストリア製）
発電出力：450kW
敷地面積：約15,000㎡
必要燃料：約5,000トン/年



※写真はイメージ

■ 来年度の方針

- 当該予定地の代替案検討
 - 再生可能エネルギーの導入やエネルギー地産地消の観点からエネルギー施策（次ページ企業誘致含む）を検討

【太陽光発電の事業化・詳細設計】

■ 内容

- エネルギーの地産地消および地域脱炭素移行による地域活性化に繋がる事業スキームを検討
- 災害時などにおける地域レジリエンス向上に向けた検討
- 太陽光発電事業化に向けた設備仕様の検討
- 近隣住民へのご説明

■ 運開時期

- 2024年度運転開始予定（1年延期）

■ 設備仕様（検討中）

仕 様：太陽光発電
発電出力：1,500kW程度
敷地面積：約20,000㎡



※写真はイメージ

■ 来年度の方針

- エネルギーの地産地消および地域脱炭素移行による地域活性化に繋がる事業スキームの継続検討
- 事業化に向けた検討ならびに住民へのご説明を継続実施

【プロジェクトE 主な活動内容②】

【企業誘致活動】

■ 内容

- ・ エネルギー事業者の誘致にかかる技術的な検討
 - ✓ 低温地熱発電（協議継続中）
 - 提案内容および技術的課題の確認・協議を実施
 - 設備概要
仕様：地熱発電 発電出力：2MW
 - ✓ 蓄電所（協議継続中）
 - 提案内容および技術的課題の確認・協議を実施
 - 設備概要
仕様：蓄電池 設備容量：未定
 - ✓ 輸入木質バイオマス発電（誘致に至らず）
 - 進出にあたっての諸課題（技術的、手続き的）の協議を実施
 - 設備概要
仕様：木質バイオマス発電 発電出力：数十万kW
燃料：輸入ペレット
 - ✓ 太陽光発電
 - 太陽光発電事業者と協議、意見交換を実施
 - 設備概要
仕様：太陽光パネル 発電出力：未定

【熱供給に関する検討】

■ 内容

- ・ プロジェクトAの陸上養殖と連携した熱供給に関する検討
 - ✓ 社内検討
 - 熱供給方法、熱量試算、設備仕様等の検討を実施
期間：2022年4月～2023年3月
 - ✓ 他企業との検討
 - エンジニアリング企業との熱供給方法、熱量試算、設備仕様等について協議、意見交換を実施
期間：2022年4月～2023年1月
 - 跡地近隣企業の熱需要調査、熱供給試算等の検討を実施
期間：2022年4月～5月
 - ✓ 商工会議所との検討
 - 商工会議所と連携し、陸上養殖の必要熱量等の試算検討を実施
期間：2022年6月～2023年3月
 - ✓ 先進事例調査・研究
 - 藻類陸上養殖研究所視察（多気）
 - エビ陸上養殖研究所視察（岐阜）
 - 温浴施設への熱供給プラント視察（和歌山）

03 | 2022年度 プロジェクトA活動報告①

【プロジェクトA主な活動内容①】

【陸上エビ養殖試験】

■ バイオフィロックテクノロジー(BFT)によるバナメイエビ養殖試験

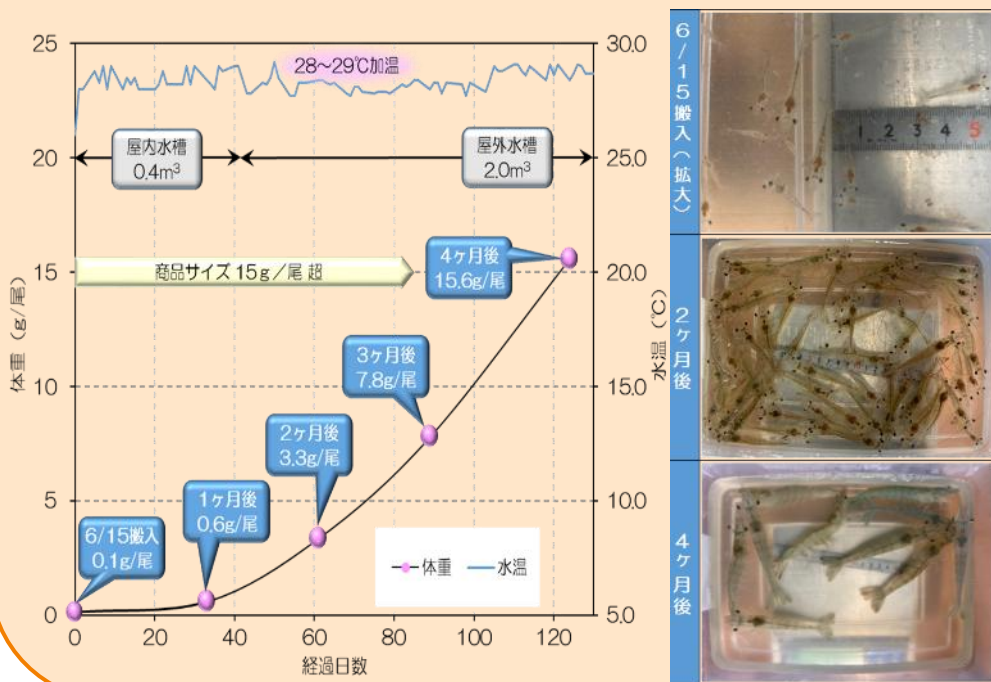
目 的：BFTによるバナメイ養殖の基本生産技術の確立

期 間：令和4年6月15日～令和4年11月15日

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

実施者：おわせSEAモデル協議会PJ-A・パートナー企業・三重大学

結 果：昨年の実験成果と、有識者や先進企業からの助言を基にBFT養殖試験を実施し、基本生産技術を確立した。
試験では、常時調温(28℃)を行い飼育した結果、約4か月で想定商品サイズ(約15g)を超える成育を確認した。



【陸上エビ養殖試験成果発表会とワークショップ】

■ エビ養殖試験成果発表会

日 時：令和4年11月16日(水)

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

概 要：関係者・報道機関・参画を検討する企業等に対し養殖試験の概要説明と成果を発表



■ ワークショップ

日 時：令和5年2月13日(月)

場 所：尾鷲商工会議所及びWEB会議システム

参加者：おわせSEAモデル協議会事務局

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

三重大学 松田教授・筒井教授

関連団体

SEAモデルの陸上養殖事業に関心のある企業 他

概 要：おわせSEAモデルの概要

BFT試験の内容と結果

BFT養殖の課題

陸上エビ養殖の事業化に向けた取組みと課題

補助金獲得に向けた活動について

【プロジェクトA主な活動内容②】

【藻類養殖事業の検討】

■ 三重大学との共同研究

目的：尾鷲湾内水での藻類養殖の可能性調査

期間：令和4年4月1日～令和5年3月10日

場所：中部電力三田火力工事所

三重県水産研究所尾鷲水産研究室

実施者：おわせSEAモデル協議会PJ-A・三重大学

結果：スジアオリを対象種に発電所跡地の地下海水を使用した試験と三重県水産研究所尾鷲水産研究室での試験を実施。安定した地下海水のかけ流しにより、水槽内の水温を一定に保つこと等、陸上養殖を行う上での条件を確認した。



■ 藻類養殖事業の企業誘致に関する活動

✓海ぶどうの陸上養殖技術の研究を行う事業者や、加工・販売に係る参画検討事業者と事業化に向けた協議を実施

✓担当行政機関に生産・加工・販売に関する法令・手続き等についてヒアリング

✓藻類養殖を全国展開する企業等に誘致活動を継続

【事業計画策定に向けた取組み】

■ 事業組織の構築

✓地元事業者・大手企業・養殖ベンチャー等と連携した組織を検討
✓養殖関連事業者と相互に視察を実施し事業連携の調査・検討を継続

■ 事業収支計画

✓協力事業者の支援を受け、事業収支計画策定を進める

■ 資金調達等

✓各種補助金の調査及び出資・融資の方法・枠組等について調査・検討

■ 養殖プラント

✓水槽の規模・形状、建屋等について養殖事業者及び専門事業者にヒアリングを実施し詳細を検討中

■ 熱エネルギー活用

✓PJ-Eとの協議及び熱供給関連事業者と意見交換を継続

■ 地下海水の調査

✓SEAモデル用地の地下海水について養殖用水としての適性を調査

■ 市場調査・販路開拓

✓尾鷲産養殖エビの市場調査及び販路開拓を継続

✓大手企業、専門事業者、地元事業者へのヒアリング調査を実施